

第9次中期経営計画

平成9年以来24年にわたり、3か年計画である中期経営計画を継続的に策定し、事業継続性の確保を柱とした経営改善に取り組んでいるが、平成30年度からは、当社の『基本理念』及び『行動指針』を念頭に置き、「経営基盤の強化促進」、「企業信頼性の確保」を重点項目とした第8次中期経営計画（平成30年度から令和2年度）を推進してきたところである。

第8次中期経営計画の達成状況は、事業継続性の確保のため計画していた倉庫内天井クレーンの更新が予定どおり完了した。一方、取扱数量・利益等の数値的計画においては、景気の穏やかな回復基調により順調に推移していたが、令和元年度の米中貿易摩擦や自然災害の影響、更には同年度末から現在まで続く新型コロナウイルス感染症の拡大で世界的に経済活動が減速した影響により、取扱数量・利益共に計画を大幅に下回る結果となった。

令和3年度（2021年度）を初年度とする第9次中期経営計画（令和3年度から令和5年度）は、新型コロナウイルス感染症の終息が不透明である中、鉄鋼メーカーで高炉の削減や生産拠点の再編等の計画が発表されるなど、当社を取り巻く環境も一層厳しい状況になることが予想されるが、前中期経営計画に引き続き、下記の重点項目とそれを達成するための主要施策を推進し、当社の『基本理念』及び『行動指針』を念頭に、全社一丸となって、社会情勢の変化に対応しながら事業継続性の確保を柱とした経営改善を邁進するものである。

記

重点項目		主要施策
・ 経営基盤の強化促進	・・・・・・・・	・ 財務体質の強化 ・ 提案型営業力の強化 ・ 我が社の礎である現場力の向上 ・ 鋼材の需要構造の変化への対応 ・ 長期的な視野に立った人材の育成及び有効活用
・ 企業信頼性の確保	・・・・・・・・	・ 法令遵守の事業活動 ・ お客様の要望に誠心誠意応える社風の定着化 ・ 安全かつ丁寧な作業の推進 ・ 協力会社との連携強化 ・ 事業継続性の基幹となる設備の将来像の検討

以上